

## 「中国・アジア」ダイジェスト

2013.07.01-07.12

\*記事は東京発行・最終版

CHINA

7月1日(月)

オイレス工業、蘇州工場を拡張  
海外4カ国で自動車用軸受を増産  
オイレス工業は、中国など海外4カ国で自動車用軸受を増産する。中国では蘇州の工場を拡張、主に日産自動車などの現地調達ニーズに対応する。タイ、米国などでも拡張し順次稼働する。(5面)

7月2日(火)

トヨタ、新小型車を投入  
中国などラインアップ強化

トヨタ自動車は、新興国市場に「Aセグメント車」と呼ばれる小型車の投入を検討する。中国と東南アジア、インド、ブラジルの各々を重点地域に、小型車のラインアップを強化。(3面)

若手社員、中国に短期派遣  
ジョンソンコントロールズ  
ジョンソンコントロールズは、ビルシステム事業の入社4~6年目の若手社員25人を中国に短期派遣する。江蘇省の自社工場や上海オフィスを訪問し、自社の中国事業の理解を深める。(7面)

東光、珠海工場フル稼働  
スマホ向けコイル/月産1億個  
東光は、珠海工場で2月に立ち上げたスマートフォン向けコイルの生産能力を9月をめどに1億個に引き上げる。アップルのほか、新興メーカーからの受注が拡大。(9面)

7月3日(水)

リョービ、大連で生産  
エンジンブロック/年35万台

リョービは、大連工場でアルミダイカスト製の自動車用エンジンブロックの生産に乗り出す。上海GMの瀋陽工場に年間35万台を納入する。約20億円投資、大型鋳造設備を7台導入する。(1面)

トヨタ自動車は、新興国市場に「Aセグメント車」と呼ばれる小型車の投入を検討する(名古屋市内での新経営体制の説明会=豊田社長と6人の副社長=2日付)



上海国際工作機械見本市が開幕  
100社出展

上海国際工作機械見本市が、開幕した。約1000社が出展。日本勢も世界最大の市場・中国での売り込みに力が入る。景気の減速が懸念される中、自ら市場創出を図ろうと意気込む。(6面)



上海国際工作機械見本市

7月4日(木)

横浜ゴム、中国から1万本調達  
建設車両用タイヤ

横浜ゴムは、生産委託先である中国の山東興達輪胎から2014年に建設車両用ラジアルタイヤ1万本を調達する。中型車

両用など10サイズ程度を供給するめどが立った。(7面)

電子書籍の制作、中国語版  
スターティアラボ

スターティアラボは、電子書籍制作サービス「アクティブック」の中国語版対応を完了、台湾で提供を始めた。閲覧用アプリと作成ツールの管理画面を簡体字と繁体字の中国語に設定できる。(11面)

ナガオカ、北京に販社  
水処理・エヌ機器/現地2工場稼働

ナガオカは、北京市に水処理装置や石油化学関連機器の販売会社を設立する。瀋陽の販社に次ぐ中国第2の販売拠点。現地合弁生産2拠点が7月稼働するに伴い営業体制を強化。(12面)

7月5日(金)

日立化成が新調達指標  
コスト優位地域から/3割

日立化成は、コスト競争力の高い地域(LCC)からの調達を指標とする購買戦略手法を導入する。国内で2~3割に高める。LCCは中国、台湾、韓国など産業集積が進んだ地域。(1面)

機能性素材工場を2014年に増設する。ロントン工業団地に工場を建設。海産物由来の機能性素材に加え、ヤシやイモなど植物由来の機能性素材を製造。(12面)

ベトナム人実習生を積極雇用  
服部工業/現地で活躍

服部工業は、厨房機器などの板金加工を手がける。これまで22人のベトナム人、中国人の実習生を指導。ホーチミン事務所ではベトナム人の元実習生2人(正社員)がCADを操作する。(7面)

バッゲは約5倍の年間約150万個、ステアリングホイールは約1.5倍の年間約80万個に生産能力を強化する。(5面)

ベトナム人実習生を積極雇用  
服部工業/現地で活躍

服部工業は、厨房機器などの板金加工を手がける。これまで22人のベトナム人、中国人の実習生を指導。ホーチミン事務所ではベトナム人の元実習生2人(正社員)がCADを操作する。(7面)



ホーチミン事務所の  
社員と話す服部専務

理化工業、タイ進出  
現地鋼材商社と合弁

理化工業は、7月中にタイの鋼材商社ジュタ・ワン・メタル(JTW)と現地に合弁会社を設立する。理化工業の技術指導で、3年後に3倍となる年間売上高5億円を目指す。(1面)

タイに自動車部品の現地法人  
シバサキ製作所・東京鉄兼

シバサキ製作所と東京鉄兼は、折半出資で、タイに自動車部品の現地法人、シバサキTBタイランドを設立した。自動車のエンジンやブレーキ向け機能部品の量産を準備する。(5面)

鴻海、コネクターを分社  
日本の電子部品の強力ライバルに

台湾・鴻海精密工業が、近くコネクター事業などを分社化する。世界一のEMSイメージが定着しているが、電子部品メーカーとしての一面を持つ。日本の電子部品の強力なライバルに。(8面)

7月6日(土)

北九州市を訪問  
産業と環境/両立の秘密探る

プリンター専用ショールーム

キヤノン/上海浦東新区

キヤノン(中国)は、中国では初めての業務用プリンター専用ショールームを上海市浦東新区にオープンした。販売を毎年2~3割のばし、全ての製品分野でシェア3割以上を目指す。(時事=3面)

ファンックなどロボ連盟加入

104社・団体に

ファンック、三菱電機、スイスABBなどの大手産業ロボットメーカーが、中国のロボット工業団体「中国ロボット産業連盟(CRIA)」に7月から加盟した。メンバーは104社・団体に。(6面)

7月7日(日)

オフィス複合機を拡充

富士ゼロックス/上海開発アジア向け

富士ゼロックスは、アジア市場向けオフィス複合機を2機種に拡充する。上海の開発拠点を活用して小規模オフィス向けに開発した新製品を7月から順次、東南アジア市場に投入する。(9面)

7月8日(月)

キトー、中国で増産

ホイスト40%増/年7万台

キトーは、中国で工場用ワイヤロープ式巻上機(ホイスト)の年生産能力を40%増の7万台に引き上げる。江蘇省の工場設備を強化。東北部や内陸部の地場企業の設備投資に対応。(6面)

7月9日(火)

特許、早期取得で新ルール

日米欧中韓/出願コスト低減

特許庁は、米国・欧州・中国・韓国と共同で、企業が特許権を早期取得できる枠組みをつくる。9月の5大特許庁(IPO)長官会合で合意を目指す。出願コスト削減や権利化の期間短縮。(1面)

スマートTV「アクオス」投入

シャープ/中国向けレノボと共に

シャープは、中国向け液晶テレビ「アクオス」の新製品を発売する。レノボと共同開発したネット視聴が可能なスマートテレビ6モデルを投入。アンドロイド

7月10日(水)

特許、早期取得で新ルール

日米欧中韓/出願コスト低減

特許庁は、米国・欧州・中国・韓国と共同で、企業が特許権を早期取得できる枠組みをつくる。9月の5大特許庁(IPO)長官会合で合意を目指す。出願コスト削減や権利化の期間短縮。(1面)

スマートTV「アクオス」投入

シャープ/中国向けレノボと共に

シャープは、中国向け液晶テレビ「アクオス」の新製品を発売する。レノボと共同開発したネット視聴が可能なスマートテレビ6モデルを投入。アンドロイド

7月11日(木)

三井住友F.L./成都に支店

日系に建機・工作機械リース(2日15面)

トヨタ・富士重工が増加

6月の中国新車販売(4日7面)

大塚HD・人工開拓事業買収

中国子会社/米社から(5日11面)

日立造船・大連工場が完成

水処理装置/年産2000t(11日6面)

卓上加湿空気清浄機、中国に投入

パナソニック(11日8面)

OSを搭載、4G 80GB

(3面)

日本にC.V.T.製造拠点

三遠機材/製造に本格進出

三遠機材は、静岡県湖西市と中国・浙江省に自動車用無段変速機部品の製造拠点を新設する。製造に本格的に乗り出す。仕入れ先に対する生産支援と客先への供給体制を強化。(5面)

7月11日(木)

建機、6月の中国販売プラス

6t以上/油圧ショベル好調

建設機械メーカーの6月の中国販売は

プラス成長となった。6t以上の油圧シ

ョベルの販売でコマツが31%増と5ヶ月

ぶりに、日立建機は3ヶ月連続で前年同

月実績を上回った。(6面)

7月12日(金)

山善、ショールーム上海で増設

中国・香港・台湾で拠点網を整備

山善は、中国で事業拠点を拡充する。

現在の3倍の広さのショールーム兼改造室を上海市で増設する。中国と香港、台湾で統合情報システムの整備と併せ拠点網を強化する。(6面)

TELOP

三井住友F.L./成都に支店

日系に建機・工作機械リース(2日15面)

トヨタ・富士重工が増加

6月の中国新車販売(4日7面)

大塚HD・人工開拓事業買収

中国子会社/米社から(5日11面)

日立造船・大連工場が完成

水処理装置/年産2000t(11日6面)

卓上加湿空気清浄機、中国に投入

パナソニック(11日8面)

次回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の次回は29日(月)に掲載します。

中国で第1b相臨床が完了

肝線維症治療薬/GNI(11日14面)

日用雑貨品卸会社2社を買収

伊藤忠(11日19面)

立命大、中国人学生に短期研修

共同学部での学習意欲向上(11日24面)

中国でドラム缶2直生産体制に

JFEコンテナー(12日11面)

ひと

中国勢には勝てない

「まともにコスト競争しても中国勢には勝てない」と製品戦略を柔軟に変更するのは、日下部機械社長の蓑原寛秀さん。「競合の弱い分野で差別化を図る」のが基本だ。得意とするボイラ設備製造装置では精度とスピードが評価され、米国で初受注が決まった。(2日=21面)

(中国)から世界に飛躍

「中国政府のロボット産業にかける期待は大きい」と話すのは安川電機執行役員の南善勝さん。